

おうちで楽習保育®をやってみよう

しぜんりかあそび編

首都圏では初雪も降り、いよいよ寒さも本番。おうちにこもりがちな季節になりました。今回もみなさまのご質問にお答えしながら、冬の季節ならではの自然を感じたり、理科の面白さに触れる「しぜんりかあそび」をご紹介します。

ママ・パパの悩みに 専門家が答えます！

Q 外あそびがどうしても単調になってしまいます。あそびの工夫や、どんな言葉かけをしたらいいかよいか知りたいです。(1歳/女児のママ)

A 寒さも本番となりましたが、是非季節の変化を感じる冬のお散歩を楽しんでみてください。

例えば、気温の違いを感じたら「寒いね」「冷たいね」と言葉にして声をかけましょう。物に触って温度を感じてみるものいいですね。「石はどうか？」「鉄棒はどうか？」「日向の地面はどうか？」「冷たい！」「こっちは暖かい！」と一緒に触れて感じることで、子どもの五感を育てることに繋がっていきます。

影絵あそびなども楽しいです。子どもにとって、影は不思議な存在。「どこにあるかな？」「長いね！」「影が消えちゃった？どこかな？あ、後ろにあった！」など一緒に話したり声をかけたりしながら自然の不思議を感じ楽しんでみてください。

子どもにとっては、「不思議だな！なぜだろう？」と考え感じることも遊びにつながり、沢山のエネルギーを消費します。

お散歩に行こう！



これは、何の葉っぱかな？



ふわふわ～！！



触ってみる？



僕の影、あった！！

Q 寒くなり室内あそびの時間が増えていますが、子どもと一緒に楽しめる遊びがあれば教えてください。(5歳/男児のパパ)

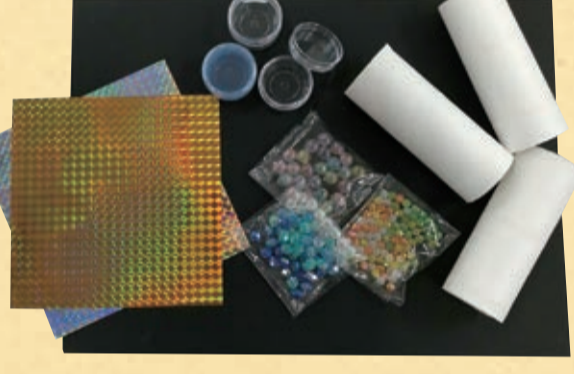
A たのしみながら科学に触れることができる制作遊び「きらきら不思議！手作り万華鏡」をご紹介します。

子どもは工作が大好きです。親子で、ものづくりを楽しみながら、いろんな不思議を見つけましょう。

きらきら不思議！ 手作り万華鏡！！

<材量>

- 黒い画用紙
 - トイレtpペーパーの芯
 - キラキラ折り紙
 - クリームなどの容器 (透明な物)
 - ビーズなど (万華鏡の中身)
 - はさみ、のり、テープ
- ※材料は100円ショップで揃えられます



作り方

1 万華鏡の蓋作り (覗き穴)

1 トイレtpペーパーの芯より少し大きく黒い画用紙を切れるよう枠取りして切り抜く

2 切り抜いたら、トイレtpペーパーの芯に貼り付けやすいように周りに切り込みをいれ折り目をつける真ん中に覗き穴を作る (おうちの人がカッターなどで穴をあけてください)

3 作った黒い蓋をテープでトイレtpペーパーの芯に貼り付ける

2 万華鏡の中身作り

黒い画用紙とキラキラ折り紙をトイレtpペーパーの長さ切る

2枚を糊で貼り付けて、キラキラの折り紙の面を内側にし三角形になるように折りテープで貼り、トイレtpペーパーの芯の中に入れる

ビーズなどキラキラしたものを、クリーム容器に入れて蓋をする

※是非、好きな物をいれて試してみてください！

クリーム容器をトイレtpペーパーの蓋をした方と反対側に貼り付けて **完成!**

覗いてみると... キラキラな世界が!!



クリームケースの中身を変えてみることで、どんな風に見えるかわかるか試してみるのも面白いですね！

専門家の声

VOICE



まずだのぶえ 増田 伸江先生

● しぜんりかあそび教育アドバイザー
 教員養成支援センター特命教授
 元お茶の水女子大学附属小学校理科教諭

子どもはモノづくりが大好きで、様々な素材と道具を駆使しながら新しい気づきを次々と生み出していきます。この時、そばにいる大人が必要な材料や道具を用意するだけでなく、子どもたちに気づきのヒントを出すことが大切です。

紙やプラスチック、ビーズなどの素材の違い、キラキラ光る折り紙は反射してものを映し出す性質があることなどを子どもたちが気づけるよう声をかけてみてください。普段の生活の遊びの中に、学びが生まれます。「なんでだろう」「うまくいかない」という疑問や失敗の声が出たらチャンスです。そばにいる大人が子どものつぶやきを逃さず、寄り添って一緒に考えましょう。難しい科学の理論はいりません。一緒に「どうしてかな」「こんふうにしてみたらどうか」とヒントになるような言葉かけをすることで、子どもは一人で新しい方法や考え方を探り始めます。

問題を発見し、思考し、解決策を見だしていく過程で子どもには科学的思考力や粘り強さが育まれていきます。